

濟心光記

◆ 終戦の日と我が国の再生



8月15日は「終戦記念日」として、我が国にとっては特別な日です。戦争で命を落とした方への哀悼の気持ちと、未来への不戦の誓いや平和への祈りを捧げることを決して忘れてはならないと思っております。

ただ、上の年表のとおり、厳密に表現すれば昭和20年8月15日は武装解除を命ぜられた「停戦の日」です。そして無条件降伏に応じた同年9月2日が「敗戦の日」で、文字通り戦争が終結したのはサンフランシスコ条約が発効する昭和27年4月28日だと整理することが正しいと思っております。

国家の三要素は「領土・国民・主権」ですから、我が国に「主権」が認められていなかった敗戦からの6年7ヶ月は「日本という国がこの世から消滅した期間」だと受け止めています。いまだに解決されない諸問題の多くが、この期間に起きています。北方領土、竹島そして憲法制定等……。

ウクライナへのロシアの侵攻、我が国周辺における緊張の高まり等激変する安全保障環境の中で、改めて原点に立ち返り、国の方向を議論すべき時が来ているように思います。

略歴

- 1955年 熊本市生 湖東幼稚園、健軍小、湖東中
- 1974年 済々黌高校卒
- 1978年 防衛大学校卒、陸上自衛隊入隊
- 2010年 健軍駐屯地業務隊長を最後に退官(陸将補)
- 2011年 城彩苑わくわく座勤務
- 2015年 熊本市議会議員初当選
- 2019年 2期目当選

会派：熊本自由民主党市議団

- ・経済委員長 ・議会広報委員
- ・熊本市防衛議員連盟(事務局長)
- ・熊本市文化都市創生委員 ・熊本市公共交通協議会
- ・自民党市議団憲法改正委員 ・会派事務局長 他



プロフィール

- 生年月日：1955年(昭和30年)1月12日生 AB型
- 家族：妻、長男(警察官)、次男(自衛官)、孫3人
- 趣味等：クラシック音楽、温泉、歴史探訪
- 特技：ホルン演奏、柔道初段、銃剣道初段、外国語…韓国語(中級)、英語(初級)、ドイツ語(片言)
- 愛読書：石光真清「城下の人」、海音寺潮五郎「加藤清正」
- 活動：《社会活動》 保護司 熊本県検察審査協会
《文化活動》 熊本県文化懇話会 熊本日独協会
熊本交響楽団 熊本市消防音楽隊
《自衛隊関係》 熊本県自衛隊家族会(事務局長) 隊友会 防衛を支える会 偕行会 郷友会 その他自衛隊協力会

光永くにやす通信 vol.16



令和4年 第3回 熊本市議会定例会(9月5日~30日)において 一般質問をさせていただきました。その大まかな内容は以下のとおりです。

※特に「市役所庁舎建替え問題」については3頁に詳しい資料を掲載しております。

1 安全安心への取組みについて

- ① 業務継続計画というのは、非常時における市役所の業務要領を定めた重要な計画です。この計画が市役所の組織改編があっても全く見直しがなされず4年間も放置されていた問題を前回の一般質問で指摘しました。今回はその改定状況を改めて確認したものです。計画の更新だけでなく、職員のスキルアップを図って、計画を「絵に描いた餅」しないよう要望しました。
- ② 大洋デパート火災50回忌の年を迎え、火災がおきた11月29日を本市における「消防の日」(仮称)とすることを提案しました。
- ③ 自衛官募集の厳しさを訴え、本市における具体的な取組みについて確認し、要望を述べました。

NHKアーカイブス



2 公共交通とまちづくりについて

- パーク&ライドは渋滞解消の切り札であることを訴え、今後県と連携し十分な予算を投じて積極的に取り組むことを要望しました。

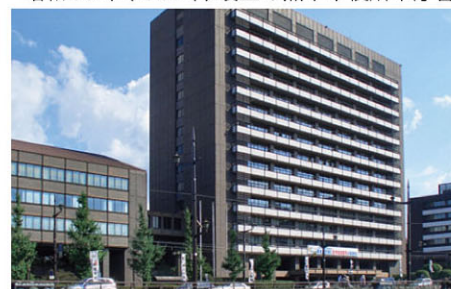


熊本市電 9200型 ハイデルベルク号 熊本市交通局 HP フォトギャラリーより

3 熊本市制 節目の年に

- 今年は政令指定都市移行10周年、独ハイデルベルク市友好都市協定締結30周年という大きな節目の年。もっと市民に周知を図り、市役所の総力を挙げて取り組むことを要望しました。

昭和56年(1981年)竣工の熊本市役所本庁舎



4 熊本市庁舎建替え問題の進め方

- 市長から提案されてから4年が経過し、その内容が分からないという声が多数あることから、改めて論点を整理しました。
- また市役所本庁舎に対して行われた耐震性能調査の問題点について明らかにしました。
- 400億円という大事業であるため今後も慎重に議論を進めることを直接大西市長に要望しました。

熊本市議会議員

光永くにやす事務所

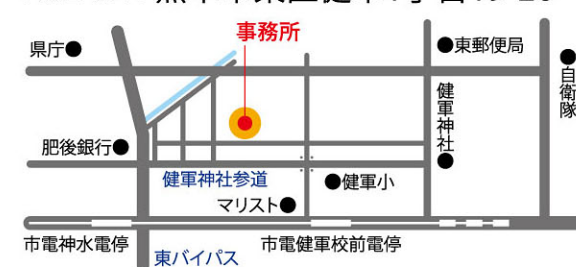
事務所電話: **080-5255-4071**
Fax: **096-367-1801**



ホームページもあわせてご覧ください。

<http://k-mitsunaga.net/>

〒862-0911 熊本市東区健軍1丁目19-26



1 安全安心への取組みについて

1-4 自衛官募集事務について

Q 幾重にも重なる安全安心の仕組みの最後の砦は自衛隊だと思っているが、今年は大変な募集難で募集広報官が苦勞している。自衛官募集事務について本市の具体的な取組み状況を教えてほしい。

A 【文化市民局長 答弁】 本市においては、法に基づき自衛官の募集事務の一部を実施しており、自衛隊熊本地方協力本部から、自衛官募集案内情報の提供を受け、広報宣伝事務を計画的に実施している。本年度は、市政だよりへの募集情報記事掲載や、区役所等窓口へ採用案内リーフレット設置のほか、募集案内の懸垂幕やのぼり旗の設置、ポスター掲示など施設の状況に応じた広報を実施し、広く市民に呼びかけを行っている。また現在、自衛官募集相談員の委嘱状交付式を自衛隊熊本地方協力本部との共催事業として実施しているほか、自衛隊家族会及び熊本市隊友会との共催で、自衛隊入隊予定者の激励会を開催してきた。今後も自衛隊熊本地方協力本部との連携や自衛隊家族会等への協力を通して、効果的な募集事務の推進に努めてまいります。

光永：募集事務について様々な形でご協力いただいていることに改めて感謝申し上げます。特に、入隊入校激励会の際には、大西市長あるいはその代理の方にご出席いただき、激励の言葉をいただいたことに多くの感謝の声があった。今後とも区役所における懸垂幕の設置等宜しくお願ひしたい。



自衛隊熊本地方協力本部 HP



2 公共交通とまちづくりについて

2-1 パーク&ライドへの取組み状況

Q パーク&ライドは本市における「渋滞解消」のための切り札のひとつ。今後のパーク&ライドの取組について教えてほしい。

A 【都市建設局長 答弁】 現在、定期購入者に対して駐車料金を減額、あるいは無償化するなど公共交通の利用に対する優遇措置を実施中。本市としては、行動変容を促すインセンティブについて検討を進めていきたい。

光永：熊本都市圏という同じエリアで、現在、県も実証実験を行っている。本市も十分な予算を準備して、県と歩調を合わせて取り組んでいただきたい。

4 熊本市庁舎建替え問題の進め方

4-2 耐震性能調査について

Q ① 築40年になる現在の庁舎に、現行の建築基準法が求める基準をそのまま適用する理由及び布田川、日奈久断層による極めて稀な強さの波による検証では不十分だという理由を教えてください。② 地下杭の調査に使用された波はどのようなものか。

A 【総務局長 答弁】 ①耐震補強工事や大規模改修工事等も含め、本庁舎の構造改修を行う際は、建築基準法第20条に基づく大臣認定の取得が必須(下線①)であるため。(下線部、光永) 17の指定性能評価機関に確認したところ、回答を得た16の全ての機関が、作成されたサイト波が告示波と同等以上でなければ、そのサイト波が適切であると認めることは難しい、との見解を出されたため。②布田川断層サイト波と米国エルセントロ観測波(下線②)を合成したもの。

光永：①(下線①)最初から「耐震補修工事をする」という前提にたった答弁で理解できない。庁舎の強度は目的に合わせて妥当な調査方法を検討すべき。「同等以上」という表現が何を指しているのか分からないが、サイト波は告示波とは全く違う手法で作られる人工波。単純に強さを比較してどちらかを選ぶ話にはならず、「性能評価業務方法書」のどこにもそんな表現は記載されていない。指定性能評価機関は設計図に対する評価を行うところなので、これから建てる未来の建築物に対して、単に基準のハードルを上げているということではないのか。②(下線②)地下杭の調査に使用されたたった一種類の波に米国の波が合成使用されているのは驚いた。なぜこのような強い波が必要なのか理解できない。

★補足説明資料をご覧ください。

4-3 慎重な検討の継続について

Q やがて議会は、問題提起されてから二度目の選挙を迎える。新年度においても、腰を据えて、まずは具体的に分かりやすい説明、十分な議論の機会が必要だと思うが、市長の考えは。

A 【市長 答弁】 新型コロナウイルス感染症にかかる状況を見極めながら、有識者会議での審議等を踏まえ、適切な時期に、議会における議論の再開をお願いしたいと考えている。

光永：「市役所庁舎は震度6強で傾く」という結論だけで市民に説明し進めてきたのは明らかに市長の「勇み足」だったと言わざるを得ない。また執行部においても、指定性能評価機関からの聞き取りだけで、熊本モデルのサイト波を切り捨てる考え方は、私は間違っていると思う。

熊本市議会インターネット議会中継サイト ▶ 令和4年第3回定例会9月7日 本会議 質問



市役所庁舎の耐震性能を分かりやすく表にまとめてみました!



耐震性能調査においては、建物の設計図をもとに地震に対する影響度をコンピューターにより解析を行います。建築基準上は複数の地震波を用いることが定められており、今回の調査では上部構造(地上階部分)に対して12種類、地下杭に対して1種類の波が使用されています。波の強さは全て「極めて稀に発生する強さ」(500年に一度発生するような強さ)に強められ、これは「震度6強~7」に匹敵する強さと言われています。

部分評価は階層の高さに区分してみました。●が合格、△が不合格です。

平成29年度調査(光永まとめ)

Table with columns: 区分 (上部構造, 地下杭), 地震波の種類, 強さ, 部分評価 (低層, 中層, 高層), 総合評価. It details the seismic performance of various waves used in the investigation, such as El Centro, Taft, and local Kumamoto waves.

評価のまとめ

- ◆ 上部構造については12種類の地震波のうち9種類に合格しており、不合格の波は八戸・神戸の告示波3波のみである。(その影響度も中層階の部分のみで限定的)
◆ 特に、熊本及び九州地方に関連する6種類の地震波全てに合格している。(ピンクの着色部)(観測波④・⑤、サイト波①・②・③、長周期の波①)
◆ 地下杭部分には、わずか1波しか使用されておらず、そこには慣性力最大の米国エルセントロ地震の波が加えられている。

以上のことから、少なくとも現在の本庁舎の地上部分については「熊本に想定される地震」に必要な強度を有しており、また先の熊本地震においても躯体の損傷は確認されなかったことから、「十分な耐震強度を有している」と判断してもいいのではないかと考えております。

また、地下杭についても、米国の地震波ではなく熊本タイプの波で解析すれば、杭の損傷はもっと小さな値になるのではないかと考えております。

新しく建替えるのであれば設計の段階で百点満点が求められます。しかし、既設の建築物である市役所庁舎の「耐震強度はどの程度か」と判断する際には、わざわざ米国、八戸、神戸などの可能性の低い地震波を考慮する必要はないと考えています。

これが私の質問の主旨です。 皆さんならどのように判断されますか。